

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 28 年 1 月 13 日

設置・運営主体	社会福祉法人どろんこ会		
設置主体	社会福祉法人どろんこ会		
経営主体	社会福祉法人どろんこ会		
事業所名 (施設名)	三原どろんこ保育園	種別	保育所
所在地	〒 351-0025 埼玉県朝霞市三原3-23-2		
電話	048-486-7470		
FAX	048-476-0188		
Email	mihara@doronko.biz		
URL	http://www.doronko.biz/		
施設長氏名	荒川 直志		
調査対応担当者	荒川 直志 (所属、職名：園長)		
利用定員	90名	開設年	昭和 25 年 4 月 1 日
理念・基本方針	1) 「にんげん力」のある子どもを育てる遊びの機会と環境をつくれます 2) 保護者のニーズをとらえ、保護者満足度の高いサービスを行う 3) 地域のみんなが子どもを育てるコミュニティーづくりを目指します 4) 一人一人が提案、実行できるパワーのある保育者集団を目指します		
開所時間 (通所施設のみ)	月～土 7:00～20:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		2
1歳児	9	9	1		2
2歳児	12	12	1		2
3歳児	21	23	1		3
4歳児	21	21	1		3
5歳児	21	20	1		3
計	90	91	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数	13人			
うち	保育士	12人	保健師・看護師	0人
	栄養士・調理員	1人	その他（ ）	0人
非常勤職員数	11人	（常勤換算 5人）		
うち	保育士	3人	（常勤換算 1.3人）	
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 0人）	
	栄養士・調理員	1人	（常勤換算 0人）	
	その他（ 用務・事務・保育補助 ）	7人	（常勤換算 3.7人）	

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 8人	非常勤： 5人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 1人

（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 29.8歳（30.2歳）

（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 1.73年（1.3年）

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

### 【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	500～1000円/月
休日保育	×	
障害児保育	○	—
一時保育	○	800円~/1時間
地域子育て支援センター	○	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	×	
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名: )		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

### 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 27年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

1人

・ボランティアの業務

子どもとの関わり  
環境整備

※年度内に8名受け入れ予定(中学生/高校生)

### 【実習生の受け入れ】

・平成 27年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 1人

※今後2月に2名受け入れ予定(短大生)

### 【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	753.34 m <sup>2</sup>
	児童1人あたり 8.37 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	199.75 m <sup>2</sup>
	児童1人あたり 2.22 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成 25年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

保護者ニーズについては年1回の利用者アンケート実施や保育参加保護者より聞き取りを実施。また随時、担任や園長による面談を実施。

### 【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

子どもたちが将来、様々な事を乗り越えて行けるよう「にんげん力」を育む保育を行う。「センスオブワンダー」と「人対人コミュニケーション」を二大保育方針とし、日々の動植物の世話や戸外活動、田植え・稲刈り・キャンプなどの自然体験から感性を養い、地域の商店や住民の方々と積極的に関わり社会性を育む。年間の活動や遠足などの行事はすべて保育者が自ら提案し、「目の前にいる子どもたちに今必要な取り組み」を創り上げ主体的に園運営に関わっていく。

#### ■物的環境への注力

園庭や園内の環境設定を手作りにこだわり行っている。

代表的なものには年間四期に分けて行っている「園庭園内改良プロジェクト」や手作り玩具、その他子どもが自然と関われるような仕掛けを、様々な箇所に施している。

#### ■人的環境への注力

「見守り・見届ける保育」の実践を目指している

保育の方向性や子どもを捉えるポイントの確認や共有のため、毎月実践報告を行っている。

子どもを育てていく環境として、保育者・保護者・地域が一体となって育ちを考えていけるように、つながりを大切にしている。保護者はもとより、外部の方も行事や見学にて保育園を知ってもらうよう努めている。特に園庭改良やどろんこ祭り、運動会、餅つき、生活発表会と大型行事には保護者の協力を募り、共に子どもを育てる絆を深めていけるようにしている。

園庭改良レポート掲示やWEBへの掲載、大型行事には子どもの育ちをで掲示したり、スライドショーで可視化すること、懇談会では言葉で伝えることを大切にしている。

### 【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

0 回 (平成 年度)